

| | | | | | |
|-------|--------|------|-----|----|---|
| 授業科目名 | 作編曲法 B | 担当形態 | 実習 | | |
| | | 開講学期 | 春学期 | | |
| 担当教員 | 高橋 裕 | 単位 | 1 | 年次 | 2 |

＝授業のテーマ及び到達目標＝

音楽の教員は、生徒の個人のレベルに応じた細やかな教育をしていかななくてはならない。教材によっては難易に応じて編曲する必要も起きてくる。楽器の編曲も様々な条件で編曲が必要となってくる。編曲や作曲の基礎を学ぶ。

＝履修の条件と学習の方法＝

教材を常に持参し、集中して授業に参加する。特に作編曲は、実際に楽譜にし、音を出してようやく作編曲をしたことになるので、宿題として家で必ず編曲してることが必須である。

＝授業の概要＝

作編曲するには和声学が必須となる。和声の進行を復習しながら歌の伴奏の編曲。合唱の編曲、器楽合奏への編曲をしながら、簡易な作曲をできるようにしていく。

＝授業計画＝

- 1回 作編曲法とは、ピアノ伴奏の編曲（その1）
- 2回 ピアノ伴奏の編曲（その2）
- 3回 ピアノ伴奏の編曲（その3）
- 4回 ピアノ伴奏の編曲（その4）
- 5回 合唱の編曲（その1）
- 6回 合唱の編曲（その2）
- 7回 合唱の編曲（その3）
- 8回 合唱の編曲（その4）
- 9回 合奏の編曲（その1）
- 10回 合奏の編曲（その2）
- 11回 合奏の編曲（その3）
- 12回 合奏の編曲（その4）
- 13回 作曲（その1）
- 14回 作曲（その2）
- 15回 作曲（その3）

＝テキスト（必携）＝

誰でもできる編曲入門 横山詔八：著 音楽之友社

＝参考書・参考資料（必携）＝

＝成績評価の方法と評価の基準＝

作編曲の作品を提出し採点していく方法をとる。

1. ピアノ伴奏の編曲提出 25%
2. 合唱の編曲提出 25%
3. 合奏の編曲提出 25%
4. 自作作品提出 25%

=その他=